



トンボが^{おお}多く^{ところ}いる^{すく}所^{ほんとう}では、力が少ないって本当なの

トンボは^と飛^{むし}ぶ虫をえさにしている

トンボは、^{おお}大きくてよく^み見える^め目をもち、^{あたま}頭もぐるりとよく^{まわ}回って、^{いちど}一度に見える^{はんい}範囲も
^{ひろ}広く、^{じぶん}自分も飛^とびながら、^と飛んでいる^{むし}虫をと^たらえて食べます。

カも、もちろん、トンボのえさになります。トンボがたくさんいれば、とらえてくれるカ
^{かず}の数も^{おお}多く、^{かず}カの数^へは減るといえます。

トンボもカも、^{ようちゅう}幼虫^{みず}は^{なか}水の中にすむ

また、^{ようちゅう}カ^{みず}の^{なか}幼虫やさなぎは、水の中ですごす、「ボウフラ」です。

トンボの^{ようちゅう}幼虫は、^{みず}水の中^{なか}でくらす「ヤゴ」です。トンボの^{しゅるい}種類^{みず}によって、^{なが}水の^{なが}流れのあ
^{ところ}る^す所が好きなものもいますが、^{へいち}平地^{みず}の水^{いけ}たまりや池、^{ぬま}ぬまなどには、^{しゅるい}いろいろな^{しゅるい}種類^{しゅるい}のト
^{ようちゅう}ンボの^{ようちゅう}幼虫^{しゅるい}がいます。やはり^{しゅるい}種類^{しだい}によって^{みじか}ちがい^{みじか}がありますが、ヤゴの^{しだい}時代^{みじか}は、^{みじか}短い^{みじか}もの
^{げつ}で2^{なが}か月^{ねん}、^{ねん}長い^{ねん}ものでは7~8^{ねん}年にもなります。

ボウフラは、ヤゴのえさ

ヤゴは、^{ちい}小さい^{ちい}うちは、^たミジンコ^たなどを^た食^たべていますが、^{すこ}少し^{おお}大き^{おお}くなった^{おお}ころは、ボウ
 フラやイトミミズが、^{すこ}いちばん^{すこ}のごちそう^{すこ}になってきます。

トンボが^{すこ}たくさん^{すこ}いて、^{みず}水の中^{なか}に^{ようちゅう}幼虫^{ようちゅう}のヤゴ^{ようちゅう}が^{すこ}たくさん^{すこ}い^{すこ}れば、ボウフラは^く食^くわれてし
 まって、^{はっせい}カ^{すく}の^{すく}発生^{すく}が^{すく}少^{すく}なくなります。だから、トンボが^{すこ}たくさん^{すこ}いる^{すこ}所^{すこ}なら、^{すく}力が^{すく}少^{すく}ない
 といえます。(監修・中山 周平)

